

# 民生委員児童委員はいつもあなたのそばにいます 稲枝民児協だより

2025年8月1日  
第 64 号  
発行  
稲枝民生委員  
児童委員協議会  
編集：広報部

## 特集：不登校

本号では児童生徒の不登校を取り上げました。不登校に対する考え方は、時代と共に変化しています。対処法も、子どもを無理に学校に行かせようとせず、まずは心身の休息を優先させ、子ども自身の気持ちを理解し受け入れることから始める必要があるようです。

また、不登校の要因はさまざまですが、「ゲーム・スマホ依存傾向」、「体調不良」、「進路の問題」、「家庭環境」などは、学校よりも家庭、保護者の方が認識しやすいと思います。兆候が見られた段階で学校と家庭が連携して対応することが必要だろうと思います。

気になることがありましたら、地域の民生委員や学校、または裏面の各種相談窓口にご相談ください。

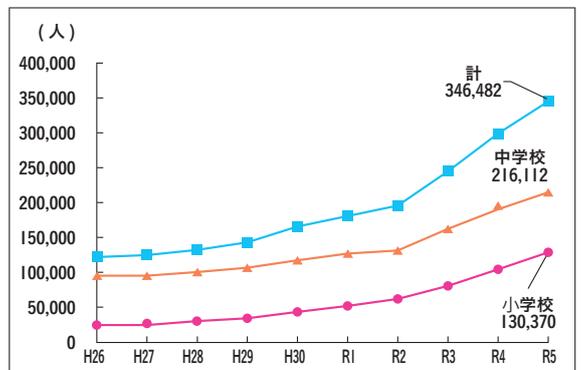
### 国の現状

文部科学省は、不登校現象を表す言葉として「不登校」を使用しています。不登校の児童生徒とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」とされています。

この定義に基づき、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」が毎年おこなわれており、その結果をまとめたものが右のグラフです。

この調査結果によると、不登校児童生徒数は、過去最多の34万6482人となり、前年度から47,434人(15.9%)増加しました。増加は11年連続となっており、初めて30万人を超えました(前年度は29万9048人)。ただし、増加率は、令和4年度が22.1%で、令和5年度は15.9%となり、前年度と比較すると若干低くなっています。

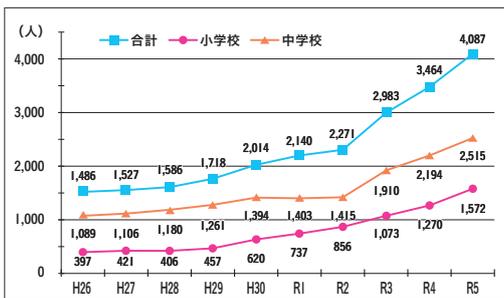
不登校児童生徒数の推移



(出典：文部科学省)

### 滋賀県の現状

滋賀県内小中学校の不登校者数の推移



(出典：文部科学省およびe-Stat政府統計資料から作成)

この調査について、滋賀県の結果をまとめたものが左のグラフです。

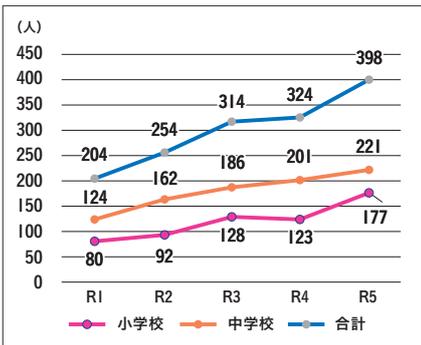
国全体と同様に毎年増え続けており、令和5年度は4,087人で、前年度から623人(18.0%)増加しました。

増加率を見ると、令和4年度が16.1%で、令和5年度が18.0%となり、国全体の傾向とは違い増加率も上昇しているのが気になります。

また、不登校者数は中学生が多いのですが、増加率で見ると、中学生の増加率が、令和4年度14.9%、令和5年度14.6%であるのに対して、小学生の増加率は、令和4年度18.4%、令和5年度23.8%と高くなっています

### 彦根市の現状

彦根市の不登校児童生徒数の推移



彦根市も不登校児童生徒数は、令和3年から令和4年にかけて小学校で減少したのを除き、毎年、国や県と同様、増え続けています。

問題は、右の表のように、彦根市では、国や県の平均より不登校の率が高いことです。彦根市では、不登校対策として小・中学校全校に「校内教育支援教室」が設置され、令和7年1月の時点で、全市で82名の利用があり、前年より大幅に増えています。

今回、教育委員会の学校支援・人権・いじめ対策課で、お話を伺いましたが、令和6年度は、前年度と比べ不登校率は減少の傾向が見られることや、不登校の児童生徒一人ひとりとは、学校や担任の先生などを通じて何らかの形で、誰一人取り残さず、つながっているというお話を聞き、ほっとしたのが正直なところでした。

令和5年度 不登校在籍率

	彦根市	国	滋賀県
小学校	2.96%	2.16%	2.01%
中学校	7.22%	7.04%	6.20%

## 彦根市の支援事業と相談窓口など

### ① フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助事業

不登校児童生徒の社会的自立を支援するため、フリースクール等民間施設の利用に要する費用の一部を補助する制度です。

問い合わせ先 彦根市教育委員会事務局  
学校支援・人権・いじめ対策課  
電話:0749-24-7978 FAX:0749-23-9190

### ② いじめ・不登校相談ほっとライン 電話相談窓口

彦根市立の小・中学校で、いじめや不登校で悩んでいる人のための電話相談窓口です。

電話:0749-24-7977  
月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)  
午前9時から午後5時  
メール入力フォームに入力して相談もできます。

### ③ 彦根市教育支援教室「オアシス」

場所 彦根市役所  
中央町別館3階



### ④ 居場所・相談窓口紹介サイト「ひこねの居場所」



### ⑤ 滋賀の多様な居場所・学びの場 リーフレット



## フリースクール「ただのふあ」に行ってきました!

6月25日午後、京町の住宅街にある、リフォームした2階建ての古民家上がりました。1階では子どもたちが、「人狼ゲーム」というカードゲームをしていて、大勢が参加し、推理やコミュニケーションが大事なゲームのようです。玄関の前には、大型遊具もある京町公園が広がっています。「ただのふあ」は沖縄の言葉で、「太陽の子」という意味です。安心できる・やりたいことができる・自分で決める・表現し創造する・自由で対等な関係、の場所です。敷地内には、庭や菜園もあります。

対象は、小学生から高校生までで現在、約40名登録。1日15名前後が来校。

開校日:月・火・木・金曜日 自然教室(月2回・水曜日)

10:00~12:00 課題を決めて学習

13:00~15:00 体験教室・フリータイム

### 「ただカフェ」

不登校の相談(無料、予約制)

月・火・木・金

16:30~18:00

多くのボランティア

スタッフの方が

頑張っておられます。



公式  
ホームページ



以前、稲枝西小におられた代表の山下吉和先生です

## 不登校の親の声

子どもが学校に着いたら急に顔色が悪くなり、教室への足取りが重くなっていました。どうしてなのかと聞いてもその理由を話してくれなく、頭痛がひどいからとすぐに早退する日々が続きました。

保健室の先生が子どもと心のふれあいを続けてくれ、ある時に子どもに「何かしんどいことがあったのか?」と優しく聞いてくださると涙があふれて、その後やっと理由を友達なら話せるとずいぶん後に聞くことができました。私は子どもから理由についての悩みを以前聞いていて、その時に子どもにはそこまで相手は悪いように思っていないよと軽く答えてしまっていたのが、子どもが親にも話せなくなった原因だったみたいです。「そうだよね。それはしんど

いよね」とまず受け入れる言葉が大切だったのです。でもその時は子どもの言葉を否定してしまい自分のモノサシで答えてしまっていました。その子どもは今社会人となりました。あの時の長いトンネルの時代について聞いてみることであり、そんなことがあったねとケロリとしています。あの当時は、担任、保健室の先生や相談員と多くの方が子どもに関わってくださいました。子どもに自分の安心する居場所を作ってもらえたことが、安心感や自信へとつながっていったのではないかと思います。

私の知り合いの方で、不登校からの大人になりひきこもりの方もいます。子どもも親も一人で悩まずに相談できる場所や居場所があれば少しでも心の重みが軽くなるのではないかと思います。まずは勇気を持って第一歩踏み出して、誰かに心の悩みをうちあけられるようにそれを祈ります。(匿名希望)

## 1歳おめでとう訪問

稲枝民生委員児童委員協議会では、赤ちゃん訪問を行なっています。

赤ちゃんが1歳になられる頃に、主任児童委員と民生委員児童委員がお伺いし、赤ちゃんの健やかな成長を願い、子育てに役立つ情報やお祝いのプレゼントをお届けしています。

毎月第2、第4金曜日に開催している「子育て井戸端会議」も案内し、交流を通じ子育てが楽しくなるよう願っています。



## 子育て井戸端会議

無料・予約不要

(会場:稲枝支所北隣・南老人福祉センター)

毎月第2・第4金曜日(10:00~11:30)に開催。

0歳児から就学前までの親子が気軽に交流できる場所、子育てにホッと一息つける場所です。

7月11日(金)

8月8日(金)

9月12日(金)

10月10日(金)

いずれも第2金曜日

自由  
遊  
び

7月25日(金) リズム体操(リトミック)

8月22日(金) 親子運動遊び

9月26日(金) 人形劇のつどい

10月24日(金) 「ハロウィン」のつどい

(稲枝地区民生委員児童委員の子育て支援)



2025年6月27日「七夕祭り」に向けて